

小川内漁協	
平成16年度放流実績	
漁業権対象魚種	秋川漁協放流量
ヤマメ	アユ
イワナ	ヤマメ
ニジマス	ウナギ
ウグイ	フナ
ヤマメ発眼卵	25000粒
	オйкаワ
	コイ

秋川漁協	
平成16年度放流実績	
漁業権対象魚種	秋川漁協放流量
アユ	4481kg
ヤマメ	3750kg
ニジマス	6000kg
ウナギ	110kg
フナ	200kg
ヤマメ発眼卵	25000粒
	オйкаワ
	コイ

丹波川漁協	
平成16年度放流実績	
漁業権対象魚種	丹波川漁協放流量
ヤマメ	ヤマメ(成・稚魚)
イワナ	イワナ
ニジマス	ニジマス
ウグイ	アユ(稚魚)
	14600尾
	13000尾
	2000尾
	250kg

多摩川漁協	
平成16年度放流実績	
漁業権対象魚種	多摩川漁協放流量
アユ	1100kg
ウグイ	153kg
ウナギ	40kg
フナ	1225kg
	オйкаワ
	コイ

多摩川漁協・川崎河川漁協	
平成16年度放流実績	
漁業権対象魚種	川崎河川漁協放流量
アユ	200kg
ウナギ	40kg
ウグイ	153kg
フナ	562.5kg
オйкаワ	2000kg
	150kg
	40kg
	300kg
	2000kg

奥多摩漁協	
平成16年度放流実績 (水川漁協含む)放流量	
漁業権対象魚種	放流量
アユ	4490kg
ヤマメ	8600kg
イワナ	500kg
ニジマス	7300kg
フナ	29kg
ウグイ	ヤマメ発眼卵
ワカサギ	45000粒
コイ	

● 環境基準点
● 補助点

※放流量は平成16年度実績。放流量は各漁協単位の値であり、本流以外も含んでいる。

図2.14 多摩川【漁業権設定・魚類等放流状況】

漁業権設定状況：東京都資料・神奈川県資料・山梨県資料より
平成16年度実績放流量：環境省調査(東京都・川崎河川漁業協同組合への平成17年度ヒアリング調査)、山梨県漁業資料より



表 2. 3 多摩川の魚介類生息状況に関する学識者や漁業関係者へのヒアリング結果の整理

対象ゾーン	流域全般	下流	上流
魚介類の生息に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> 「資料」の出現魚種で概ね妥当。 	<ul style="list-style-type: none"> 新幹線鉄橋下の砂礫域で少量のアユが一時的に生息しているとの情報がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ウグイ・カジカ・アユ等が中心。 ウナギ・ヨシノボリ・シマドジョウが増加。 ニジマスは羽村堰より上流の本流で確認した。
再生産に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> アユの産卵場所がある。 アユ・ウグイ・カジカ等の産卵床保全等積極的な方向にある。 	<ul style="list-style-type: none"> アユの産卵場所はいくつかあり、二子玉川上流域で良く産卵している（昭和 59-62 年調査で確認。今年度も二子玉川等にて産卵場所調査実施予定）した。 	<ul style="list-style-type: none"> アユは放流以外に今後産卵場等保全の取組み考える方向にある。 ウグイの人工産卵床を毎年本流に設置している（陸橋上流）。 平成 10 年度頃よりヤマメ発眼卵埋設放流実施している（氷川・奥多摩漁協等）。 秋川漁協にてカジカ保全計画あり。
放流に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> 遊魚対象魚種*のほとんどが放流魚である。 		<ul style="list-style-type: none"> アユ・ヤマメ・ニジマス・コイ・フナを放流している。
河川環境に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> 近年、水質は良くなっている。 堰が多いため近年魚道整備が進んでいる。しかし、魚道利用・効果が今後の課題である。 堰、取水施設、下水処理場が魚類の生息環境に影響するものと考えられる。 		
その他	<ul style="list-style-type: none"> アユは昭和 60 年以降変動あるものの、増加傾向にある（平成 14 年春には推定 100 万尾遡上）。 		

遊魚対象魚種*：アユ・ニジマス・ヤマメ・コイ・フナ・ウグイ・オイカワ・ウナギ

※ 環境省調査（秋川漁業協同組合、東京都産業労働局水産試験場への平成 16 年度ヒアリング調査）

表2.4 淡水域(多摩川)における魚類等生息状況の変遷

	年代								増減方向	増減の理由	場所※
	1940	1950	1960	1970	1980	1990	1998				
アブラハヤ								↑	増加	小河内ダム表面放流後(1992~)	奥多摩
アユ								↑	成長良好	小河内ダム表面放流後(1994~)	奥多摩
ウグイ								↑	増加	ダムによる流量安定(1993・1994~)	奥多摩・多摩川
オイカワ								↑	増加	1995年~	多摩川
コイ								↑	増加	放流による増加	秋川
タモロコ								↑	増加(急増)	1962-1963年~	多摩川
マルタ								↑	増加	近年回復傾向	多摩川
モツゴ								↑	増加(急増)	1962-1963年~	多摩川
アメリカザリガニ								↑	増加	汚濁し始めた頃~	多摩川
イトミミズ								↑	増加	近年増加傾向	多摩川
ドロムシ?								↑	増加	近年増加傾向	奥多摩
シロタニガワカゲロウ								↑	増加	1993・1994~	多摩川
モエビ								↑	増加	近年増加傾向	多摩川
モクズガニ								↑	増加	近年増加傾向	多摩川
ユスリカ								↑	増加	近年増加傾向	多摩川
ウナギ								↓	減少	ダム完成後ダム冷水影響、石の埋没(1957~)	奥多摩
カジカ								↓	減少	石の埋没(1958~)	奥多摩・秋川
カマツカ								↓	減少	戦後は生息(1945~)	川口川・多摩川
ギバチ								↓	減少	ダム完成後ダム冷水影響(1957~)	奥多摩
シマドジョウ								↓	減少	ダム完成後ダム冷水影響、石の埋没(1957~)	奥多摩
タナゴ類								↓	減少	(1961~)	多摩川
ドジョウ								↓	減少	戦後は生息(1945~)	川口川・奥多摩
マス(サクラマス)								↓	減少	護岸の泥減少	秋川
ヤツメウナギ								↓	減少	護岸の泥減少	多摩川野毛・多摩川調布
カワムシ								↓	減少	浮石の減少	多摩川
シジミ								↓	減少	戦後は生息(1945~)	奥多摩
ヒゲナガカワトビケラ								↓	減少	1963・1964~	川口川・多摩川

↑ : 増加
↓ : 減少

出典: 東京の川の生きものと環境 - 河川水生生物総合解析調査報告書(その1) - (東京都平成10年3月)より作成

場所(※) 奥多摩: 多摩川羽村堰から上流

多摩川: 多摩川羽村堰から下流

多摩川野毛: 世田谷区野毛周辺、多摩川府中・府中市周辺

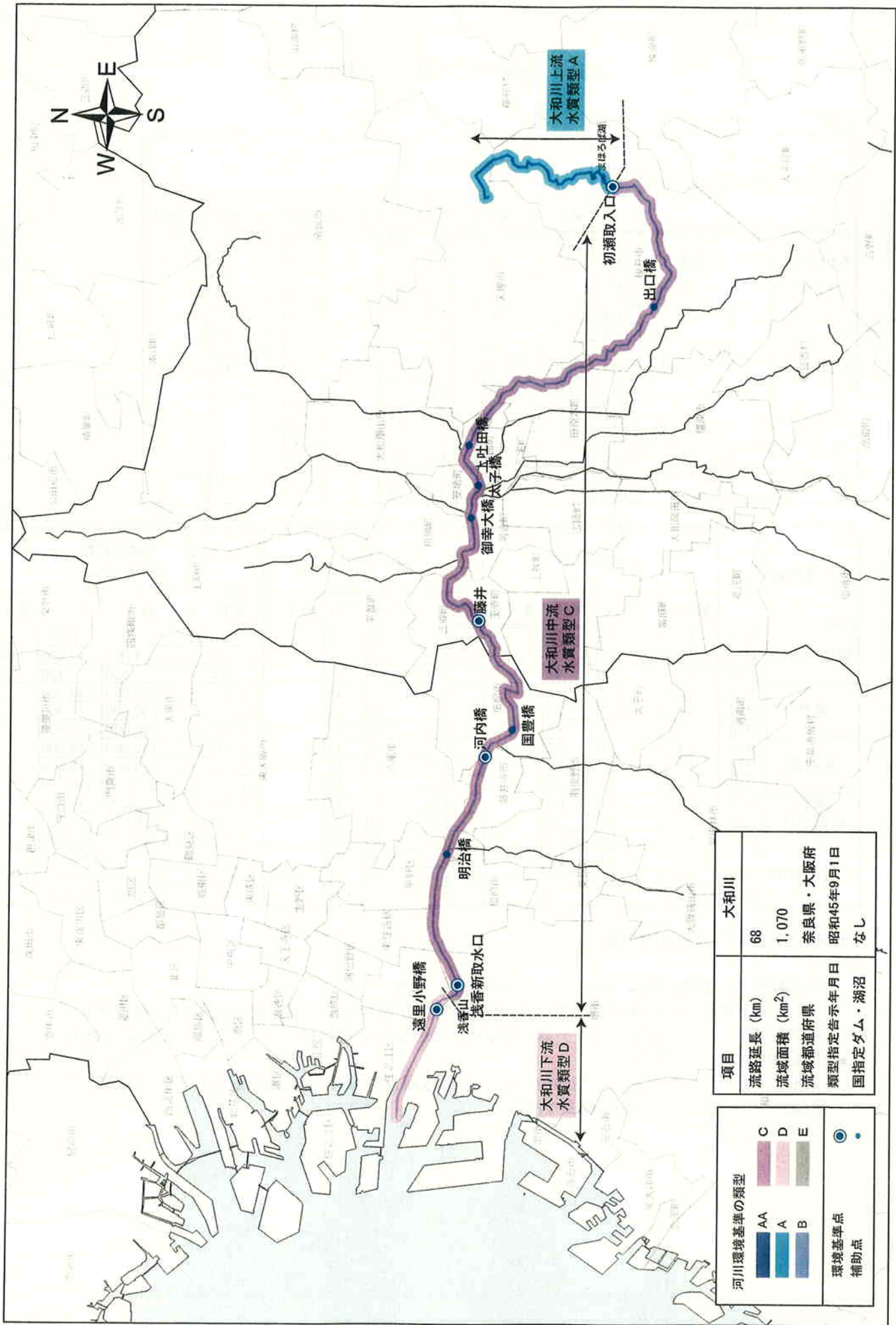
多摩川八王子: 八王子市周辺、多摩川調布・調布市周辺

河川が併記してあるもの: 両方の河川を含んだ範囲

表2.5 多摩川における出現魚種 (過去の記録)

魚種	過去の記録			1973年10月～1974年11月の調査における出現魚種 (捕獲魚)													1974年度調査での追加分、支流は省略)													
	1927-1935 羽村～丸子 (中村守純)	1967 多摩川 下流 (大島)	1972 羽村～八潮 (中村守純)	1974 府中 (堀川謙三)	川井堰上	昭 和 橋	川 井 堰 上	柳 洲 橋 (万年 種・調 布橋 の間)	多 摩 川 橋 (羽村 堰及 び小 作堰 上)	水 田 橋 (羽村 堰下)	掛 島 橋	多 摩 大 橋	日 野 橋	尾 戸 堰 上	" 下	大 丸 堰 上	" 下	多 摩 川 原 橋	二 ヶ 領 上 河 原	二 ヶ 領 下 河 原	子 橋 上	赤 岩	丸 子 堰 上	" 下	ガ ス 橋	多 摩 川 大 橋	六 郷 橋	大 師 橋		
ヤマメ																														
アユ																														
ニジマス																														
ウグイ																														
カサガ																														
アユ																														
オイカワ																														
コケレン																														
コケレン																														
ヒヨドリ																														
コイ																														
ゲンゴロウ																														
ゲンゴロウ																														
キンブナ																														
キンブナ																														
キンギョ																														
タモロコ																														
メダカ																														
シナイモツゴ																														
タイリクバラタナゴ																														
バラタナゴ																														
シロヒレメダカ																														
ヤリタナゴ																														
アブラハヤ																														
カワムツ																														
ツチフキ																														
カマツカ																														
ハス																														
ヒゲイ																														
ドジョウ																														
シマドジョウ																														
ホトケドジョウ																														
スナヤツメ																														
ウナギ																														
ギバチ																														
カムルチー																														
ナマス																														
ヨシノボリ																														
シメジ																														
ウキゴリ																														
カダヤシ																														
イダガ																														
ワカサギ																														
小計	15種	20種	22種	18種	12(7)種																									
汽																														
水																														
魚																														
不明																														
小計	1種	3種																												
総計	16種	23種	22種	18種	12(7)種																									
小計																														
小計																														

表注) *: 調査で確認できなかったが釣り師等の捕獲物より生息を推定できたもの
 1973(84)年度調査: 秋季(9-12月)、冬季(2-3月)、
 1974(85)年度調査: 春季(5-6月)、夏季(8-11月)
 小計及び総計の()内は48年度時点での種数
 出典: 東京都水産試験場(1974)「多摩川の魚類生態調査Ⅰ」(建設省京浜工業地帯事務所委託調査)
 東京都水産試験場(1975)「多摩川の魚類生態調査Ⅱ」(建設省京浜工業地帯事務所委託調査) から一部改変



項目	大和川
流路延長 (km)	68
流域面積 (km ²)	1,070
流域都道府県	奈良県・大阪府
類型指定告示年月日	昭和45年9月1日
国指定ダム・湖沼	なし

河川環境基準の類型	
AA	C
A	D
B	E

環境基準点	
●	環境基準点
●	補助点

図3.1 大和川【水質汚濁に係る環境基準の類型指定状況】